

事業計画書

平成27年7月8日

団体名	特定非営利活動法人 つづき区民交流協会		
代表者	飯田 嘉雄	団体設立年月日	平成17年4月6日
団体所在地	横浜市都筑区茅ヶ崎中央29-5 森ビル204		
連絡先	Tel 045-942-5516 Fax 045-942-6416 E-mail [REDACTED]		
現在運営している施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
中川西地区センター	地区センター	横浜市都筑区 中川2-8-1	始18年4月1日 至28年3月31日
仲町台地区センター	地区センター	横浜市都筑区 仲町台2-7-2	始18年4月1日 至28年3月31日
北山田地区センター	地区センター	横浜市都筑区 北山田2-25-1	始23年4月1日 至28年3月31日
東山田スポーツ会館	スポーツ会館	横浜市都筑区 東山田町105-2	始18年4月1日 至28年3月31日
大熊スポーツ会館	スポーツ会館	横浜市都筑区 大熊町310	始18年4月1日 至28年3月31日
鴨池公園子ども ログハウス	子どもログハウス	横浜市都筑区 荏田東3-2	始18年4月1日 至28年3月31日
中川中学校コミュニテ ィハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区 大棚町240	始18年4月1日 至28年3月31日
勝田小学校 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区 勝田町266	始18年4月1日 至28年3月31日
川和小学校 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区 川和町1463	始18年4月1日 至28年3月31日
都田小学校 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区 池辺町2831	始18年4月1日 至28年3月31日
北山田小 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区 北山田5-14-1	始18年4月1日 至28年3月31日
つづきの丘小学校 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区荏田 東1-22-1	始18年4月1日 至28年3月31日
東山田中学校 コミュニティハウス	コミュニティハウス	横浜市都筑区東山 田2-9-1	始18年4月1日 至28年3月31日
都筑多文化・青少年交流プ ラザ(つづきMYプラザ)	国際交流ラウンジ 青少年地域活動交流拠点	横浜市都筑区中川 中央1-25-1	始19年12月1日 至28年3月31日

1 団体の状況

(1) 団体の理念・基本方針等

ア 団体の理念(経営方針)

● 地域活動拠点としての居場所づくり

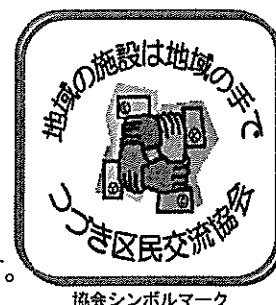
地域活動拠点としての居場所づくりを目指し、安全で気軽に楽しい施設の運営を行います。

● 地域連携によるまちづくり

施設運営を通じて、地域交流、まちづくりを行い、公益を増進していきます。

● 持続可能な施設運営

効率的な運営と利用者還元をはかる等、利用者目線で運営します。



イ 基本方針

● 地域活動拠点としての居場所づくり

単なる貸し館業務に終わることなく、自主事業や施設運営を通じて、子育て世帯・青少年・高齢者等の居場所づくりや世代間交流を行います。

● 地域連携によるまちづくり

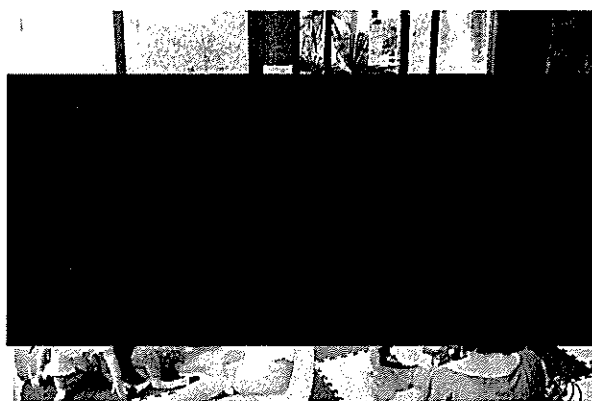
地域の施設・団体との連携によって、子育て・まちづくり・防災等の課題解決を目指す取り組みや、地域人材の育成を行います。

● 持続可能な施設運営

修繕費の上昇による維持費増に対応するため、入札による一括発注、人員体制の見直し等のコスト削減策、寄附金・補助金の獲得、企業協賛、自販機設置検討等の増収策に取り組みます。



遊歩道愛護会との清掃活動



「イケアのおもちゃであそぼう」(企業連携)

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

1 団体の状況

(1) 業務実績

ア 業務実績

「施設運営を通してひと・情報・地域をつなぐ」をモットーに、都筑区内において下記の業務を実施しています。

● 区内14施設を受託

都筑区内の14施設を市から管理運営受託
(下記イ参照)

● 地域連携事業を展開

区や地域の団体・施設との連携事業を多数展開

・「子育てカレンダー」として、運営する14施設の
子育て支援事業をHPで毎月発信



「つづきウォッチ」で子ども関連事業を広報

・都筑区施設・団体連携事業「つづきウォッチ」(区内子ども関連事業の広報)の展開

・中高生による区の魅力発信「MY つづき一番コンテスト」を開催

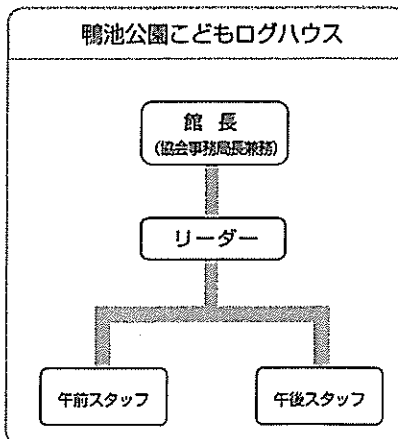
・当館では、「荏田南・荏田東近隣エリア子育てネットワーク」に参加し、近隣の施設・団体と連携して、「子育てマップ」「子育てカレンダー」を作成するなど、情報発信・情報交流を展開

● 人材育成事業を展開

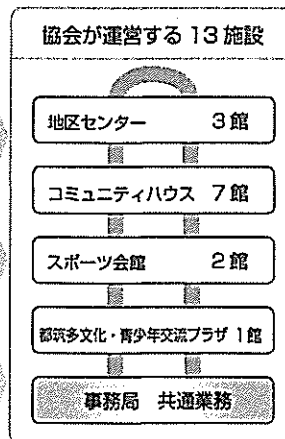
「地域づくりコーディネーター養成講座」、夏休みボランティア体験事業「はあと de ボランティア」等の人材育成事業を独自に展開

イ 公共施設の管理運営

地区センター、コミュニティハウスなど、都筑区内の14館の公の施設の管理運営等を行っています。



人事異動・研修交流・連携支援



・指定管理 (5施設)

地区センター (3施設)

スポーツ会館 (2施設)

・業務委託 (9施設)

コミュニティハウス (7施設)

こどもログハウス

都筑多文化・青少年交流プラザ
(=つづき MY プラザ)

※A 4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

1 団体の状況

(2) 応募理由

ア 応募理由

● 協会内施設とのネットワーク化

当協会が運営する他施設とのネットワーク化により、都筑区全体での子育て環境づくりが、より効果的に推進できると考えます。

● 地域や関係施設との連携

「荏田南・荏田東近隣エリア子育てネットワーク」などを通して、地域や関係施設との人的連携ができているため、これをさらに発展させていきたいと考えます。

● 他の施設でのノウハウの活用

こどもログハウスのノウハウを活用して、他の施設での子育て支援や青少年育成支援をより効果的に取り組むことができます。

● 区内施設の人材育成

スタッフの平均年齢が比較的若いことから、育成したスタッフを協会の他の施設に異動させることにより、区内施設の人材育成をより効果的に行っていきます。

イ 応募団体における当該施設の位置付け

● 小中学生の居場所づくり

放課後の安全・安心な居場所として、小中学生がのびのびと遊び、集える場

● 子育て家庭の支援

乳幼児親子が地域で安心して子育てできるよう支援し情報収集・仲間づくりの拠点、休日のお出かけスポットとしても機能する場

● 地域連携による子育て環境づくり

地域団体や他の施設と連携し、地域ぐるみの子育て環境づくりを行う場



「焚き火でパン焼き」(鴨池公園まんまるプレイパークと連携)



「ミスト・シャワー」で遊ぶ

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

2 職員配置・育成

(1) 職員の確保、配置及び育成について

ア 職員の確保に係る考え方、計画

- **採用の考え方** 近隣在住者、PTA等地域活動経験者、子育て経験者の採用に向けて、広く公募を行い、職員を確保
- **採用計画** 10月意向調査、1月公募、2月採用試験、3月内定・研修、4月採用

イ 職員の配置に係る考え方、計画

- **職員**
 - ・スタッフ：時間給のスタッフを配置（周辺地域から採用。原則5年間の雇用）
 - ・スタッフリーダー：スタッフのうち1名に指導的役割を担わせる（スタッフのとりまとめ、地域連携、区役所担当課・事務局との連絡調整等）
 - ・館長：事務効率化のため、協会事務局長の兼務体制
 - ・事務局の応援体制：事務局（徒歩7分）が、緊急時やイベント時等に応援
- **1日の流れ** 9時～13時、13時～17時の勤務に2人ずつ配置
- **ローテーション** 1人月10日間程度のローテーションを土・日祝・平日で均等に設定

ウ 職員の育成に係る考え方、計画

- **研修の積極的推進** 職員のスキルアップ、運営への参画推進、施設・地域の連携、地域人材育成を目的として、職員や地域の人材を対象に全体研修、階層別、担当別等の研修をきめ細かく実施。毎月の館長会・スタッフ会議でも、利用者対応・サービス向上等の意見交換実施の他、外部研修にも参加。

研修区分		研修内容	回数	参加対象者
全体研修	個人情報保護研修	個人情報マネジメントシステムの理解、実践、個人情報保護の徹底	年1回	全員
	人権研修	人権尊重のための知識・姿勢の理解・習得	年1回	全員
	危機管理研修	危機管理マニュアルの理解・実践	年1回	全員
	普通救命講習	心肺蘇生・AED使用方法の習得	3年毎	全員
	窓口サービス研修	地域と施設を繋ぐ窓口サービス、危機管理施設の維持管理、苦情対応	年1回	全スタッフ
階層別・担当別研修	新入スタッフ研修	コンプライアンスの遵守、個人情報保護の徹底、危機管理マニュアルの理解等の初期研修	年1回	全新入スタッフ
	コンプライアンス研修	法令遵守、利用者要請に応える姿勢の徹底	年1回	館長
	地域連携研修	地域連携の現状と課題	年1回	館長
	地域づくりコーディネーター養成講座	地域課題をさらに進める方法、実例	年1回	市民団体・館長希望スタッフ
	広報・ホームページIT研修	自主事業等の広報方法の実例、ホームページ掲載方法、SNSの活用	年1回	館長・担当スタッフ
	図書研修(実施予定)	図書の選書・除籍、ディスプレイ方法修理方法習得	年1回	館長・担当スタッフ
	次世代育成研修	持続可能な施設運営、自主事業企画・地域連携等、次世代の館長等管理者の育成	年1回	館長推薦スタッフ
	自主事業企画研修(実施予定)	自主事業の企画方法、人気事業実例	年1回	担当スタッフ
経理会計研修(実施予定)	経費削減実例、予算の効果的執行方法	年1回	担当スタッフ	

*施設別研修 新人研修（採用時）、ノロウィルス対応（年1回）

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

ア 施設及び設備の維持保全のための点検、管理等の計画

経年劣化を踏まえ、施設及び設備の維持保全のための点検、管理等を計画的に行い、持続可能で効率的な運営と長寿命化を目指します。

● 長期修繕計画の策定

区と調整し、指定管理期間の長期修繕計画を策定し、計画的・効率的に点検、管理

● 日常業務点検

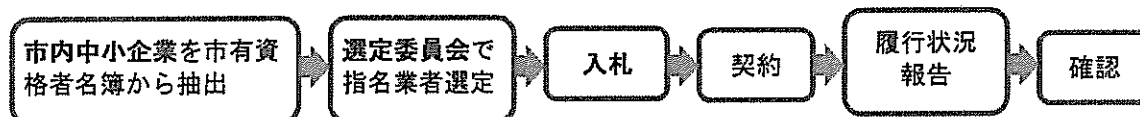
- ・業務日誌：出勤時に全員が目を通し、懸案事項・引継事項を把握
- ・チェックリスト：毎日、日常点検チェックシート、建物日常点検チェック表により、建物・設備・遊具・周辺を効率的・効果的に点検

● 点検、管理等の計画

区分	業務	内容	頻度	備考
衛生管理	害虫駆除	病害虫の駆除	2回/年	専門業者に委託
建物等	消防用設備点検	定期点検	2回/年	専門業者に委託
	非常通報装置点検	定期点検	2回/年	専門業者に委託
	誘導灯・誘導標識点検	定期点検	2回/年	専門業者に委託
	消火器詰め替え	備付の消火器の薬品詰め替え	1回/5年	専門業者に委託
	機械警備点検	夜間時や休館時、自動通報装置にて警備会社へ連絡	常時	専門業者に委託
	小破修繕	施設内外の小規模な修繕	随時	自前による 又は専門業者に委託
清掃等	日常清掃、環境整備	日常清掃（毎日）、施設内外の環境整備		自前による
	定期清掃	清掃、床（3回/年）、ガラス（2回/年）、換気扇（2回/年）、外溝・排水枦・網戸・煤払（1回/年）、屋根枯葉（1回/年）		専門業者に委託

● 外部委託業者の選定方法

安価で質の高い業者選定に向けて、市内中小企業を対象に、協会内の選定委員会で選定した事業者による入札を行います。



※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営 (2) 小破修繕への取組み

ア 施設、設備の修繕計画

● 長期修繕計画の策定

施設、設備の修繕にあたっては、区と調整のうえ、指定管理期間の長期修繕計画を策定して、計画的・効率的に修繕を行います。

● 修繕部隊の創設

協会内に修繕グループ「なおし隊」を創設し、小規模修繕等できることはすべて自営化します。

● 自前修繕

できる限り、スタッフによる自前での修繕を行い、日常点検を欠かさず、安価できめ細かい維持管理を行います。

・自前修繕の26年度実績：鍵修理、トイレタンク修繕、玄関前等整地、登り棒補修、伝声管交換等

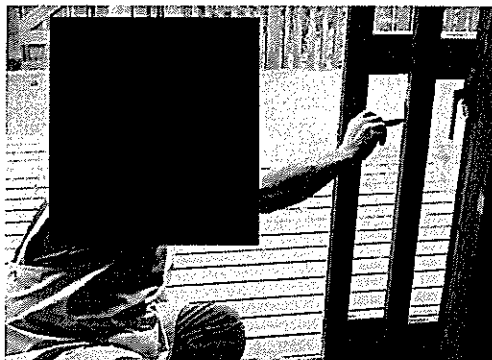
● メンテナンス研修

協会内の人材や行政関係者を講師とし、技能と知識の習得に努めます。

● ボランティアによる維持管理への参加

利用者や地域のボランティアによる維持管理活動を積極的に進め、「みんなの施設」という意識を育てます。

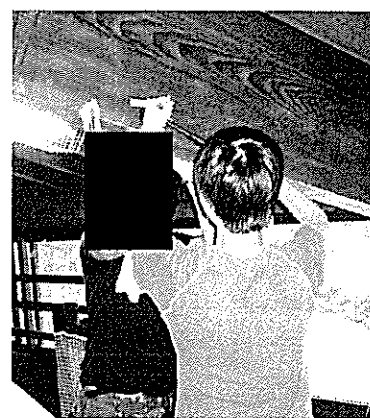
- ・ログハウス委員会等、地域住民による清掃（年1回）
- ・高校生による周辺清掃ボランティア（年1回）
- ・来館した子どもたちによる落ち葉清掃（年1回、ログポイント付与）



カギの自前修繕



スタッフによる布ボールの作成、修理



「はあと de ボランティア」
の高校生による修繕

落ち葉ひろいボランティア

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営

(3) 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応

ア 事故防止の取組

- 巡回点検 定期的な巡回点検(4回以上/日)、利用者への声掛け
- ヒヤリハット事例の共有 毎月開催のスタッフ会議等で共有
- 防犯カメラ 1階、2階に各1台設置
- 貴重品管理 携帯電話等の貴重品を子どもたちからファスナー付袋で個別に預かり
- AED等 AEDを見やすい場所に配置、受付に救急箱とノロ対策用具を配置



AED使用訓練



幼児の救急救命講習会開催

イ 緊急時の対応の計画

● 危機管理マニュアルの整備

事件・事故発生時の対応方法について、マニュアルを整備し、スタッフ間で共有

● 危機管理研修 年1回実施し、危機管理マニュアル、避難誘導方法確認

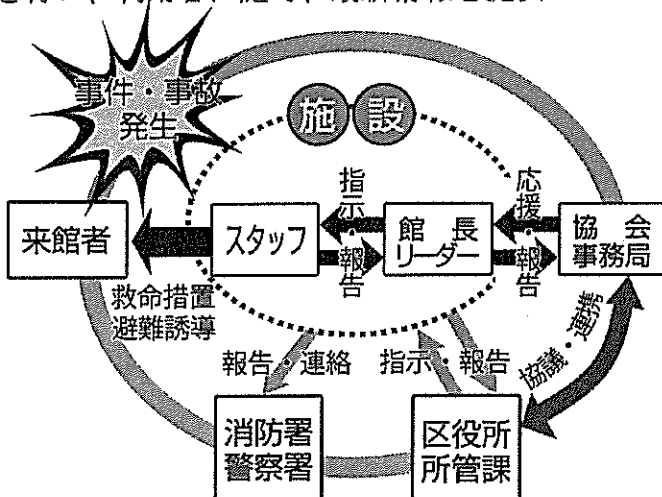
● 普通救命講習 全職員の普通救命講習修了と更新を義務付けて、心肺蘇生、AED使用に対応

● 損害賠償保険 横浜市及び指定管理者の賠償責任リスクに備えて加入

● 不審者情報 近隣小学校、PTAとの情報交換を行い、利用者に随時、最新情報を提供



都筑消防署での普通救命講習



緊急避難経路をスタッフ全員で確認

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営
(4) 防災に対する取組み

ア 防災の取組

- 消防・防災訓練 年2回、全スタッフによる訓練と利用者の参加を得ての訓練
- 防火管理者 館長が防火管理者講習受講、消防署に登録
- 風水害情報 利用者に随時、最新情報を提供



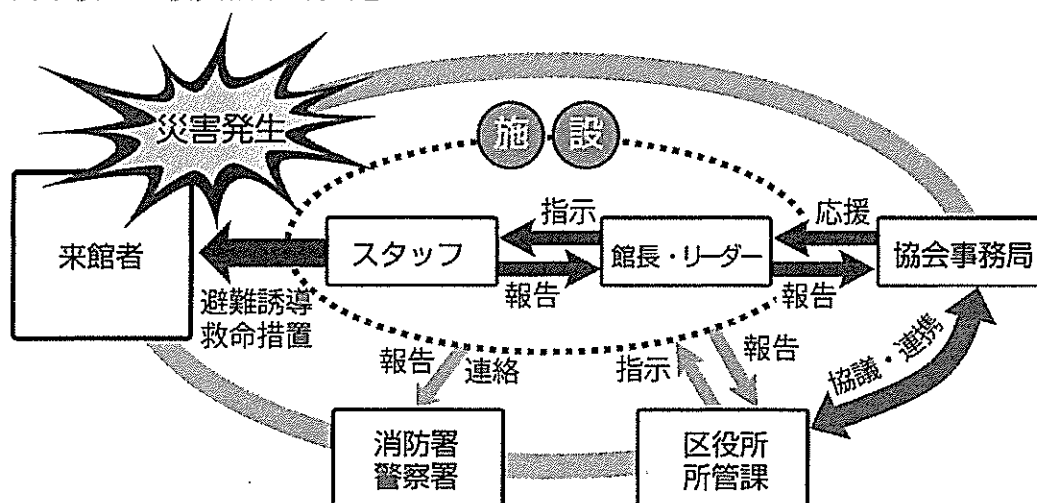
子どもたちと防災訓練

イ 発災時の対応の計画

- 基本体制 隊長（防火管理者）— 指揮班、通報連絡班、避難誘導班、消火班

役割	任務内容	役割	任務内容
隊長	防火管理者	避難誘導班	利用者に大声で避難の方向を指示し建物の外へ誘導する 避難状況を指揮者に報告する 避難用具を準備し避難誘導
指揮班	通報確認・避難誘導・消火活動指揮 消防隊到着時の誘導と情報提供		
通報連絡班	消防機関通報・館内放送と確認 建物内関係者への連絡及び初期消火	消火班	手近な消火器を火点に集結する 消火器で消火活動

- 初動班 4か月毎の輪番で3人一組の初動班を設置。直ちに駆けつける体制を構築
- 事務局の応援体制 緊急時には、協会事務局（徒歩7分）の応援体制確保
- 区役所、協会事務局への連絡 第一報連絡、事故報告書による詳細報告、二次被害防止に向け復旧・復興活動等実施



※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営

(5) 利用者のニーズ、要望、苦情への対応

ア 利用者の意見等の把握

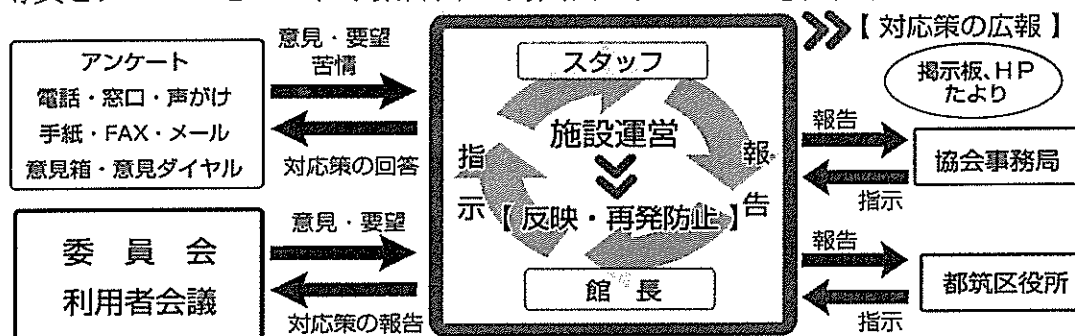
● 利用者からの意見、要望、苦情等の把握方法

様々な広聴手段により、利用者からの意見、要望、苦情等の把握に努めています。

- ・アンケート…自主事業参加者（月1回）、ログまつり（年1回）、利用者全体（年1回）
26年度利用者アンケート結果…スタッフの対応は87%が満足・ほぼ満足

「空調設備が不十分であるため夏は暑く冬は寒い」→当初小中学生の利用が中心であったため、空調設備が整っていなかった。近年乳幼児の利用が多く、温度管理が課題となっている。区と調整のうえ「温度適正化計画」を策定し、収入源として飲料自販機、募金箱の設置について検討していきたい。

- ・ご意見箱…1か所設置。回答を施設内に掲示。
- ・委員会（年1回）…小学校PTA・自治会町内会・子ども会・主任児童委員・青少年指導員をメンバーとして、事業計画・事業報告等について意見交換



イ 改善へつなげる計画

● 利用者ニーズの運営への反映

利用者等からの意見、要望、苦情を施設運営に反映させます。

- ・利用者アンケート結果の反映例

(意見) 活発なエリアと静かなエリアの決まりを作ってほしい

→薄いカーテンを下げて区分を明確にしました。

(意見) 入館時に、子どもを抱いて記名するのは大変

→入館時の記名はやめました。

(意見) 季節ごとのイベントをやってほしい

→「季節であそぼう」を実施します。(四季の伝統的遊び、小学生企画イベント等)

- ・ログハウス委員会での意見の反映例

(意見) 子どもたちに掃除をやってもらっては？

→子どもたち・乳幼児親子など、利用者による掃除ボランティアのイベント実施



カーテンで静かな部屋を区分

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 施設の管理運営

(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組み

ア 個人情報保護・情報公開に係る取組み

● 個人情報保護に関する法律、市個人情報の保護に関する条例の遵守体制

- ・個人情報保護に向け、「行動基準」の全職員への徹底
- ・個人情報保護規程に則り、事務局長を個人情報保護管理者として年1回全職員に研修、理事を個人情報保護監査責任者として年1回全施設対象の定期監査

● プライバシーマークの取得 平成22年6月認定取得、26年6月更新



● 個人情報保護の具体的取組み

- ・個人情報保護方針の施設内掲示、利用目的の申込書等への明示、苦情・相談窓口のHPへの掲載
- ・記載書類の施錠保管、紙媒体のシュレッダー処理、電子媒体の物理的破壊
- ・PCの持ち出しやUSBの使用禁止、パスワードの6か月更新
- ・ウィルス対策ソフト更新、ファイル交換ソフトの使用禁止
- ・委託先と非開示契約締結、評価 ・保存文書の管理と保存年限による廃棄

● 情報公開への取組み

- ・利用方法・運営情報の公開…施設だより、チラシ、HP、ツイッター、フェイスブック
- ・地域や利用者の声の反映…ログハウス委員会、利用者アンケートにより、利用者の声を聴取し、施設だより、ツイッター、フェイスブック等により反映させた結果を公開
- ・情報公開請求への対応…運営管理業務で情報公開請求があった場合、市に準じて対応

イ 人権尊重に係る取組み

- 人権研修 職員全員に年1回実施、テーマ：児童虐待防止等

ウ 環境への配慮に係る取組み

● ヨコハマ3R夢プラン

市ごみゼロルート回収参加、裏紙利用、資料・広報の電子化等、リユース・リデュース・リサイクルを心がけ、ヨコハマ3R夢プランを積極的に推進

- ヨコハマbプラン まんまるプレイパークでの自然体験と連携した活動の実施（落ち葉掃除と焼き芋・焼きマシュマロ等）、「ログ・ガーデン」で子どもたちと花壇を整備

エ 市内中小企業優先発注に係る取組み

● 大規模発注時

入札時の業者選定委員会において市内中小企業を優先的にリスト掲載し、発注

- 少額発注時 少額発注においても、市内中小企業へ優先的に発注

オ 本市の重要施策を踏まえた取組み

- こども・青少年育成計画 都筑区は若年層の転入が多く、地域の中で孤立化しがちであるため、乳幼児親子・小中学生の居場所づくり、地域ぐるみの子育てを支援

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施

(1) 事業計画、事業展開

ア 実施事業についての計画 ～現在の取組～

子どもたちや親子の交流を深め、居場所づくりを目指して、様々な取組を行っています。

● 親子の広場「かもっこ」で子育て支援

保育園やボランティア、地域在住の講師の協力により、乳幼児親子対象の子育て支援と居場所づくり（月3回）

- ・近隣保育園の保育士による育児相談
- ・親子工作、ボランティアお話会、人形劇、リトミック
- ・ママヨガ、ストレッチ
- ・紙芝居、絵本読み聞かせ、わらべ歌、手遊び 等



「クリスマス会」で幼児と小学生向けに2回公演

● 季節のイベント

季節の遊びの楽しさや異年齢交流を体感してもらい、新規層も開拓

- ・ログまつり（ゲーム・模擬店で交流。26年度参加者数476人）
- ・クリスマス会（マジックショー・パントマイムを鑑賞。26年度参加者数311人）
- ・お正月、節分、雛祭り、こいのぼり、七夕、水遊び、バルーンアート、ハロウィン等

● 日々の工夫

- ・「ログ・ミッション」の実施（毎月更新）…様々な課題を実行する、チャレンジゲームにより、遊びに主体的に参画。建物の魅力も味わう
- ・「チャレンジ折り紙」（毎月更新）…季節の折り紙の折り方と子どもたちの作品を展示
- ・「誕生祝い」（月1回）…模擬ケーキのローソクに、誕生月の子どもたちの下の名前と年齢を記入し、皆でお祝いして、ログハウスになじんでもらう

イ 実施事業についての計画 ～新たな取組～

来館者の子どもたちや親子が主体となった取り組みを実施、運営に参画していただき、施設に愛着を持ってもらいます。

●「ゆるかも」の開催 親子の広場「かもっこ」参加者が主体的に事後交流。ゆるやかなサークル活動の居場所を提供

●「季節で遊ぼう」

四季の伝統的遊びのコーナーを設置して、遊びを伝承
独楽、剣玉、お手玉、折り紙、ちぎり絵、鬼ごっこ等

●「たつじん集まれ」 「季節で遊ぼう」を小学生自身の企画で実施。小学生が技を披露し、教え合う。

●「みんなで工作」 身近な材料で、創意工夫して工作し
ギャラリーに飾り付け。ログへの愛着を持ってもらう。

●「ログ・ガーデン」 子どもたちと花壇を整備し
自然に親しみながら、ログへの愛着を持ってもらう。



「ゆるかも」で居場所提供



「節分」にみんなで豆つかみ

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施
(2) 施設の利用促進

ア 施設の利用促進についての考え方

● 現在の利用状況の分析

単位：人

年度	開館 日数	1日当 たり	計	内訳					
				幼児	小学生			中学生	大人
					1、2年	3、4年	5、6年		
23	348	155	54,013	15,281	6,822	8,502	6,874	1,365	15,161
24	334	159	53,193	15,017	6,501	7,695	7,627	1,082	15,271
25	346	170	58,848	17,037	7,975	8,562	7,384	1,002	16,888
26	347	168	58,127	17,697	6,819	7,844	7,230	1,157	17,380

- ・ 幼児と大人は増加傾向…親子の広場「かもっこ」(乳幼児親子対象の子育て支援事業)の参加者などによるリピーターの増加、HP・フェイスブック・ツイッターでの新規参加が原因と考えられます。
- ・ 小学生は横ばい傾向…放課後児童施設、塾などによる放課後の自由時間の減少が原因として想定されます。

● 利用促進についての考え方

魅力ある事業や広報の拡充などにより、小学生のリピーターや転入者親子の来館を増やしていきます。

イ 施設の利用促進についての具体的な計画

● 「ログ・ポイント」創設

- ・ 小学生対象にポイントカードを作成し、来館時にポイント付与しリピーター増加策に
- ・ ポイントが貯まったら、イベントや事業での特典付与

● 広報の拡充

- ・ ツイッター、フェイスブックによる情報発信を拡充し、新規層の開拓
- ・ 迷わず来られるように、緑道・駐車場からの案内図を作成

● 関係施設・団体への働きかけ

- ・ 保育園・幼稚園、障害者施設、支援学級等へ団体利用PR
- ・ 都筑区施設・団体連携事業「つづきウォッチ」…6～8月に区内の施設・団体が開催する子ども関連の事業をリストアップし、広報。他の施設の利用者や団体関係者への施設の周知、顔の見える関係づくりを。



ツイッター、フェイスブックのお知らせ

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施

(3) 地域課題の理解及び課題を踏まえた事業提案

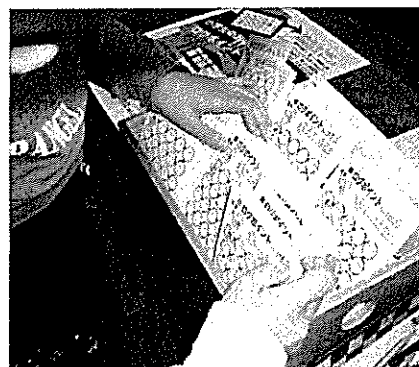
ア 具体的な提案

● 乳幼児親子の居場所づくり

- ・転入者、年齢層別、パパ、祖父母といった対象毎に、親子の広場「かもっこ」をきめ細かく展開していく。
- ・区役所・ポポラと協働し、「あつまれ都筑のニューフェイス」事業として、転入親子向けに「かもっこ」にお誘いし、参加者に紹介する。

● 小学生の居場所づくり

- ・「ログポイント」を開始し、小学生対象に来館時にスタンプを押すことにより、ログハウスに立ち寄る習慣ができるようにし、館になじんでもらう。
- ・鴨池公園「まんまるプレイパーク」との協働で、プレイパークで体を使って遊んだ後、ログハウスで静かな遊びができるような一連のイベントを企画し、ストレス解消できる、ほっとする空間にする。



「ログポイント」

● 多世代交流

- ・今後の高齢化の進展を見据えて、環境整備活動、ボランティア講師などで、高齢者との多世代交流を行っていきます。

イ 提案理由

● 地域活動拠点としての居場所づくりを

- ・地域で孤立して子育てしていることが想定されるため、乳幼児親子や子どもたちの居場所づくりを行います。
- ・留守家庭の増加により、放課後居場所のない小学生が見られるため、小学生が安心して過ごせる居場所づくりを行います。

ウ 背景と課題

● 子育て世代が多数転入

都筑区は市内でも若年層が多く、乳幼児親子・小中学生の転入者が多いことが特徴です。

- ・15歳未満人口：都筑区 17.6% (市内1位、H25)
- ・平成7年以降の居住者が 60.4% (H23 区民意識調査)

● 地域で孤立して子育て、居場所のない小学生

近隣につながりがない中で、孤立して子育てしている状況が想定されます。

留守家庭の増加により、放課後児童施設・塾等は増加していますが、他方では、居場所のない小学生が見られます。

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施

(4) 関係機関及び地域団体との連携

ア 連携についての具体的な考え方

● 団体・施設等と連携した自主事業

「地域で子育て」をキーワードに、近隣の地域団体、公園愛護会、地域施設、ボランティア、育児サークル、赤ちゃん会等と連携して、各種協働事業を実施します。

● 子育て情報提供の場

団体・施設と連携して、子育て支援情報を発信する場づくりを行います。

イ 連携についての計画

● 施設・団体との連携

- ・「荏田南・荏田東近隣エリア子育てネットワーク」…近隣の関係施設・団体、ポポラと定期的に協議し、「こそだてマップ」「子育てカレンダー」作成等、子育て支援連携
- ・「まんまるプレイパーク」との連携…ログハウスで開催される親子の広場「かもっこ」と、同じ鴨池公園で開催される「まんまるプレイパーク」を一連の流れとして企画し、屋内外での活動を楽しめるようにする(月1回)
- ・保育相談…近隣保育園保育士が来所して保育相談、手遊び等、子育て支援(月1回)。専門家による支援をしてもらう。

● 学校との連携

- ・「はあと de ボランティア」(夏休み)…自主事業に中高生がボランティアとして参加。子どもたちに異年齢交流の機会を楽しんでもらう。
- ・高校生による周辺清掃ボランティア(年1回)、中学生の職業体験受入(随時)…子どもたちにボランティア体験をしてもらい、乳幼児・小学生と異年齢交流。

● 企業との連携

- ・企業からの寄附(随時)…クリスマス会での景品等。企業の社会貢献意欲にも応える。

● 子育て情報提供の場

- ・各施設・団体が作成するチラシをPDF化し、HP・フェイスブック等で発信
- ・施設・団体連携事業「つづきウォッチ」…6~8月に区内で開催される子ども関連のイベントを、当協会が事務局になり、リストアップして広報。施設・団体の顔の見える関係づくりにもつなげる。
- ・「子育てカレンダー」…当協会が運営する14施設の子育て支援事業をHPで毎月発信



中学生の職業体験

※ A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市鴨池公園こどもログハウス

平成28年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料

(単位：円)

提案額 (a)	7,691,000	指定管理料=小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	7,691,000	
差引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 平成28年度収支予算書 (総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
自主事業収入 [A]	145	
雑入 [B]	73	
小計 【ア】 ((A)~[B])	218	施設運営収入の計
指定管理料 [C]	7,691	【ウ】 - 【ア】
小計 【イ】 ((c))	7,691	指定管理料の計
収入合計 ((ア) + 【イ】)	7,909	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	5,961	
事務費 [b]	467	
自主事業費 [c]	253	
管理費A (光熱水費等) [d]	0	
管理費B (保守管理費等) [e]	889	
公租公課 [f]	329	
事務経費 [g]	10	
支出合計 【ウ】 ((a)~[g])	7,909	

※金額は、消費税及び地方消費税 (8%) 込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市鴨池公園こどもログハウス

平成28年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
自主事業収入	子育て支援	かもっこくらぶ	ア	26
	まつり	ログハウスまつり	イ	90
	その他	その他自主事業	ウ	29
			エ	
			オ	
		小 計		[A]
雑入	自動販売機手数料		カ	70
	寄附金		ク	3
			ク	
			ケ	
			コ	
			サ	
		小 計		[B]

小 計 【ア】	施設運営収入計	218	[A]~[B]
---------	---------	-----	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（8%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会
施設名	横浜市鴨池公園こどもログハウス

平成28年度収支予算書

2 支出の部内訳

(単位：千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	常勤職員		ア	0
	時給スタッフ		イ	5,784
	法定・法定外福利費	労災保険料、健康診断費等	ウ	177
	小 計		[a]	5,961 ア～ウ
事務費		消耗品費、通信費、備品購入費、リース料等	[b]	467
自主事業費		講師謝金、材料費等	[c]	253
管理費 A	電気料金		エ	
	ガス料金		オ	
	上下水道料金		カ	
	小 計		[d]	0 エ～カ
管理費 B	修繕費	随時	キ	286
	清掃	年 3 回	ク	125
	消防設備	年 2 回	ケ	7
	機械警備	常時	コ	389
	空調設備		サ	
	害虫駆除	年 2 回	シ	13
	その他保全費	AED保守管理費	ス	69
			セ	
			ソ	
			タ	
小 計		[e]	889 キ～チ	
公租公課		消費税、法人県民税、法人市民税等	[f]	329
事務経費	労務、経理、契約、職員研修など		[g]	10

小 計 【ウ】	施設管理運営経費計	7,909	[a]～[g]
---------	-----------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（8%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

団体の概要

平成 27 年 7 月 8 日現在

団体の名称	(フリガナ)とくていひえいりかつどうほうじん つづきみんこうりゅうきょうかい 特定非営利活動法人 つづき区民交流協会			
団体の所在地	(〒 224-0032) 横浜市都筑区茅ヶ崎中央29-5 森ビル204			
設立年月日	平成17年4月6日			
沿革	<p>区内地区センター等を運営していた「都筑区区民利用施設協会」の業務を引き継ぎ、都筑区の地域づくりや担い手づくりを目指して、地域の方々により設立されたNPOです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都筑区区民利用施設協会設立 (平成7年4月) <p>これまで施設毎に運営委員会に委託していた業務を一元化し、横浜市が設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特定非営利活動法人つづき区民交流協会設立 (平成17年4月) <p>指定管理者制度の導入にあわせて、地域の方々によりNPO法人を設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特定非営利活動法人の認定を取得 (平成25年12月) <p>活動実績が評価され、市内地区センター運営組織としては唯一「認定」取得</p>			
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内14施設を受託 <p>地区センター、コミュニティハウス等、区内14施設を市から管理運営受託</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域連携事業を展開 <p>区や地域の団体・施設との連携事業を多数展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てカレンダーとして運営する14施設の子育て支援事業を毎月HP掲載 ・荏田南・荏田東近隣エリア子育てネットワークに参加し、子育てカレンダー・子育て支援マップ発行等、情報の交流・発信 ・都筑区施設・団体連携事業「つづきウォッチ」実施 (子ども関連事業の広報の共同展開と情報交流) 等 <ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成事業を展開 <p>「地域づくりコーディネーター養成講座」、夏休みボランティア体験事業「はあと de ボランティア」等の人材育成事業を独自に展開</p>			
財政状況	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	総収入	224,567,316	230,036,843	234,213,188
	総支出	227,776,827	231,520,046	228,711,943
	当期損益	△3,209,511	△1,483,203	5,501,245
	累積損益	1,563,285	80,082	5,581,327
連絡担当者	氏名	[REDACTED] 所属 特定非営利活動法人 つづき区民交流協会		
	電話	045-942-5516	FAX	045-942-6416
	E-mail	[REDACTED]		
	所在地	〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央29-5 森ビル204		
特記事項				